



秋葉山鳥居(本人撮影)

新年あけましておめでとうございます。

令和4年がスタートし、皆様方におかれましては気持ちも新たに麗しくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

世界中で大混乱におとめている新型コロナウイルス感染症も、発生から2年が過ぎました。ウイルスは次々と変異を繰り返し、現在は「オミクロン株」が世界的に感染拡大をしています。この日本でも、年明け以降かつてないほどのスピードで感染が拡大しています。今後この感染症がどのように展開していくのか、まだまだ予断を許さないというところ です。

しかし、ワクチンや症状を和らげる飲み薬などが開発され、感染はしても比較的軽症ですみ重症化・重篤化が押さえられ始めています。ウイルスには人類の英知を結集して立ち向かい、いつの日か近い将来にこの感染症との闘いを終え、以前のように旅行や会食に皆が普通に出席できる世の中が戻ってくることを望んでやみません。

昨年は静岡県政においても大きな出来事がたくさんありました。

2021年の静岡県を振り返る上で忘れてはならないのが熱海市の土石流災害です。7月3日に熱海市伊豆山地区を襲った土石流では26人が亡くなり、1人がいまでも行方不明です。熱海市が把握している限りで134世帯240人が避難を続けています。県は、罰則として懲役刑を盛り込んだ、盛り土規制の条例案を今年の県議会に提出する方針です。土の捨て場として静岡県が狙われることを防いでいく考えです。私も建設委員会の副委員長としてこの問題にしっかりと取り組んでまいります。

また、川勝知事の「コシヒカリ発言」から端を発した「知事辞職勧告決議案可決」という県政史上初めての出来事は、県下のみならず全国的にも大きな話題となりました。その後明らかになった「女性蔑視発言」「職業・学歴差別発言」問題と合わせ、皆様方の記憶にも新しいことと思います。繰り返される失言や暴言、そのたびに謝罪と撤回を繰り返す知事の政治姿勢に、360万県民の代表としての資質と有りようが問われています。

浜松市の話題としては、この浜北区に関しても行政区再編の大枠が定まり、三方原地区を除く北区と統合されることがほぼ決定しました。未来を生きる次世代のために、自分たちの住む地域を今後どのようにしていくべきか、自分事として皆で考えていかななくてはなりません。私も生まれ育ったこの浜北の発展のためにしっかりと行動してまいります。

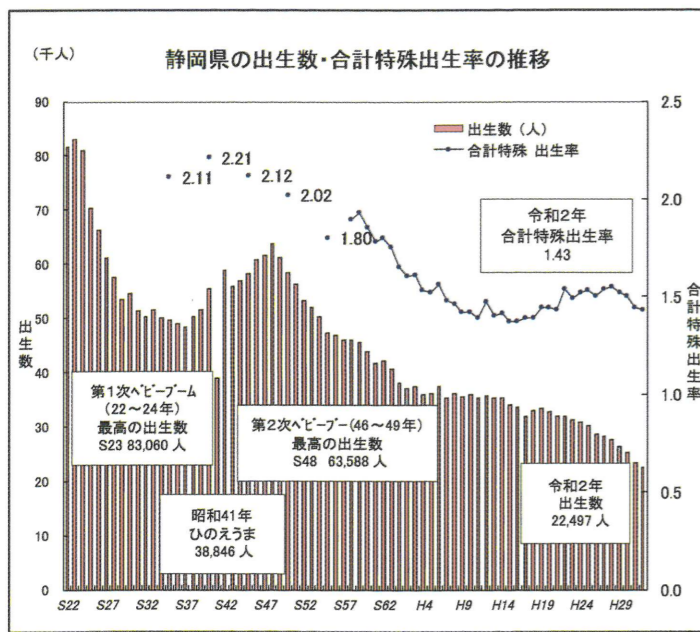
コラム1 ふじのくに出会いサポートセンター

静岡県が既に14年前に減少に転じていたことをご存じでしょうか？

静岡県の人口は、2007年12月の379万7千人をピークに減少が続いており、2021年12月の推計人口は360万3千人で、驚くことにこの14年間で約20万人が減少したことになります。これは静岡県だけの現象ではなく、わが国はもとより、先進国共通の現象となっています。

人口が減少する理由は、「自然減」といわれる死亡数が出生数を上回る要因と「社会減」といわれる流出数が流入数を上回る人の移動による要因があります。静岡県は意外と思われるかもしれませんが、実は47都道府県の中で人口減少数が大きい方から7番目なのです。しかも、これも意外と思われるかもしれませんが、静岡県は全国ワースト4位の人口流出県なのです。特に若い女性の首都圏や中京圏への流出が大きく、進学や就職、結婚を機に本県を離れる方が非常に多いのです。このことから、本県は人口減少の上、若者の流出による少子高齢化の進展の度合いが他県に比べて高い全国的にも上位の県ということになります。

少子高齢化の進展は、経済規模の縮小による社会の活力の低下や医療・介護費等の増大による給付と負担のバランスの崩壊など切実な問題が指摘されています。このため、県では若者に本県に住み続けてもらえるよう産業の振興と雇用の創出、魅力的な就業環境の整備、魅力ある教育環境の整備などに重点的に取り組んでいます。



★出生数は960人減、合計特殊出生率は0.01ポイント減少(前年比)

2020年の本県の合計特殊出生率は1.43で、2004年の1.37を底に若干上昇しているものの、近年は低下傾向にあります。出生数についても2019年は23,457人で減少傾向が続いています。出生率低下→少子化を議論するうえで避けて通れないのが、未婚化、晩婚化です。なぜなら日本の場合、出産・子育ては結婚して夫婦になって行くという慣習や国民性、文化、法律、宗教など複合的な理由が影響し、婚外子の割合が欧米と比べ極端に少ないという現実から、未婚化、晩婚化は少子化に大きく影響する問題だといえます。

本県においても未婚化、晩婚化が進んでいます。未婚率については、2015年の男性の30歳から34歳階級の未婚率は46.3%、女性の25歳から29歳階級の未婚率は56.9%で今なお上昇を続けていると思われます。

晩婚化については、2019年の男性の平均初婚年齢は31.1歳、女性は29.3歳で、この30年で男性が2.7歳、女性が3.6歳上昇しました。女性の平均初婚年齢が上昇するにつれて第一子、第二子の出生時年齢も上昇傾向にあることが認められます。

県は、これまで保育の充実など安心して子供を産み育てられるための環境整備に取り組むとともに、子供を望んでいるのに恵まれない夫婦に対して不妊治療費の助成を行うなど時代や社会の要請に応じて様々な施策を実施してきました。一方結婚はあくまで個人の価値観によるものであり、その選択は個人に委ねられるとして結婚支援の施策には慎重であったといえます。

私は、独身者の約8割が結婚を希望している一方、**独身でいる主な理由**として半数の人が**適当な相手に巡り会わない**ことを上げているという県民意識調査による現状を知りました。しかも一昨年からのコロナ禍においては、テレワークが増加し、懇親会はもちろん同居する家族以外との会食の自粛が求められるなど人と人が出会う機会が極端に少なくなり、ますます切実な問題となってきました。そこで、結婚を希望する人がその希望をかなえ安心して子育てができるよう支援していくべきと考え、昨年の県議会2月定例会本会議で県の考えや取組を質しました。広域行政としてこの問題に向き合い、県下一律の体制で結婚支援に取り組んでもらいたかったのです。

その結果、**ふじのくに出会い応援事業**が事業化され、県と35市町が連携して社会全体で結婚を応援する「ふじのくに結婚応援協議会」が昨年11月30日に設立されました。具体的には、静岡市葵区御幸町に「**ふじのくに出会いサポートセンター**」を設置し、**AI(人工知能)を活用**して最適な出会いの機会を提供していきます。こうしたシステムや出会いのきっかけとなるコミュニケーションの取り方など、利用する方の様々な不安や疑問に対処するため、専門相談員が相談に応じたりアドバイスを行ったりすることとしています。

本年1月10日から会員申し込み・登録を開始し、4月からAIによるマッチングシステムの運用を開始する予定です。

県内で結婚を希望する20歳以上の独身者が対象で、登録料は1年会員の場合10,000円、2年会員は16,000円となっています。本年3月までに登録を完了された方は、**令和4年度の登録料が無料**となりますので、迷われている方もぜひ積極的に御登録ください。

事業の詳細や登録の方法などについては、「ふじのくに出会いサポートセンター」で検索の上、ホームページを御参照ください。

結婚を希望される皆様の素晴らしい出会いが実現することを祈念いたします。



「未来」と「夢」をシェアしよう。しずおかで、ふたりで。

結婚という同じ目的を持った本当に欲しい出会いが「しずおかマリッジ」にはあります。結婚したいけど出会いがない...そう思いませんか？ふじのくに出会いサポートセンターでは、あなたのご縁が広がるよう、ビッグデータ分析を活用し、お相手探しをサポートします。さらに、ご縁が広がった後も、ご希望に応じて、交際に向けてのアドバイスや交際の悩みごとなど、様々な相談に対応いたします。つながったご縁を大切に育むお手伝いは、当センターの大切な役割です。

「結婚はゴールではなく、ふたりに歩む人生のスタート」
ふたりで描く理想の家庭「未来」と、それぞれが叶えたい理想の自分「夢」を実現するため、人生設計など、「これから」を考えたお手伝いをいたします。安心して利用できる、マッチングサービス「しずおかマリッジ」で「これから」を共に歩むお相手探しを始めませんか。

しずおかマリッジでの登録、マッチング、成婚までの流れ



- | しずマリPOINT / | POINT | 内容 |
|----------------------------------|---------|---|
| 出会いから結婚までの支援のみならず結婚後の人生設計までサポート! | POINT 1 | 結婚相談 プロフィールの作成からお相手探し、交際期間中のアドバイスなど、各会員様に合わせた御相談に対応し、各市町独自の結婚支援メニューも御案内します。 |
| | POINT 2 | 婚活イベント 会員様のニーズに合わせて、県内各地の観光地などで楽しい婚活イベントを開催。素敵な出会いを提供します。 |
| | POINT 3 | ライフデザイン相談 結婚は人生の一部です。各会員様が結婚後の生活を具体的に思い描くことができるよう、今後の生活設計の相談にも対応します。 |

●**利用料金** 入会時の面談後に直接お支払い又は、銀行振込みにてお願いします。 ※利用費に課税費用です。途中退会や登録後、一度もお見合い等のご利用がない場合でも、退会いたしません。 ※振込み手数料はご負担ください。

1年間でご利用の登録料 **10,000円** 2年間でご利用の登録料 **16,000円**

- 本登録に必要なもの 下記の必要書類を撮影した写真またはPDF等の画像データをシステムにアップロードをお願いします。
- 写真付きの身分証明書
運転免許証、マイナンバーカード、パスポートなど。
 - 本籍地の市町村が発行する**独身証明書**
発行から3か月以内のもの。
 - 健康保険証
結婚等の確認のために必要となります。
 - 直近の所得を確認できる書類
「所得証明書」、「確定申告書の控え」、「源泉徴収票」など。
 - 本人の写真1~2枚
本人のみが写っている3か月以内に撮影したもので、
*(スタジオ写真)は必須。任意でも1枚、写真を追加できます。ご自身の魅力が十分に伝わる写真をお撮りください。

“安心な出会い”を提供し、
静岡県で暮らす、ふたりの未来をサポートします

ふじのくに 出会いサポートセンター

しずおかマリッジ

会員
募集中!

「未来」と「夢」をシェアしよう。
しずおかで、ふたりで。

お問い合わせ
お申込み

ふじのくに出会いサポートセンター
〒426-0001 静岡市葵区御幸町9-1 JADEビル4階 (株)東海通信シグマ
E-mail: fujisakuai_deai@tokaido-sigma.jp (月~木/12:00~20:00) (土・日/10:00~18:00)
TEL 0120-005-342

ふじのくに出会いサポートセンター
検索

WEBサイトはこちらから

コラム2 「ワクチン・検査パッケージ制度」の運用開始

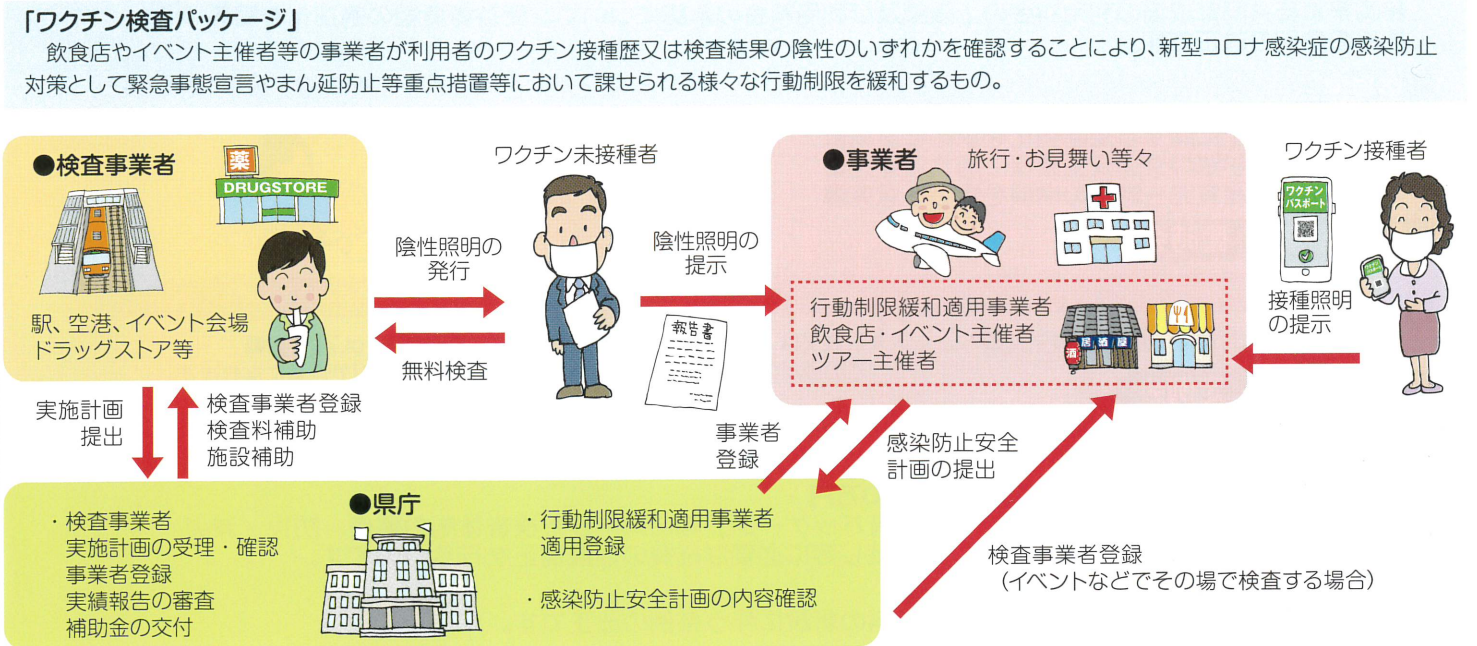
新型コロナウイルスの「ワクチン・検査パッケージ制度」の運用が開始されました。これまでの約2年間、感染拡大防止対策と経済対策及び日常生活の回復という相反する命題に対処するため、様々な取組が行われてきました。感染拡大防止については、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令とそれに伴う自粛要請、行動制限、そしてワクチン接種へと展開し、経済対策では各種の給付金等に加えて旅行や飲食の補助により窮地に立たされた事業者等を支援してきました。

このたび、この2つの命題に対して転機となり得る制度の運用が開始されました。それが「ワクチン・検査パッケージ制度」です。この制度は、飲食店やイベントの主催者等

が、入店者や入場者等の「ワクチン接種歴」又は「陰性の検査結果」のいずれかを確認することにより、感染リスクを低減させ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などにおいて飲食店・イベント・人の移動・カラオケ店に課される行動制限を緩和するものです。

例えば本県において、ふじのくに安全・安心認証(飲食店)を取得した飲食店で飲食をする場合、緊急事態宣言下やまん延防止等重点措置の下では、営業時間の短縮や休業の要請、同一グループ同一テーブル4人までとする呼びかけなどがなくなりました。このほか、イベントや人の移動、カラオケ等についても一定の条件はあるものの、大幅に行動制限が緩和されました。

ワクチン検査パッケージ 概念図



そして、静岡県新型コロナウイルス感染症検査無料化事業が12月から始まりました。ワクチン・検査パッケージの利用を希望する方のうち、基礎疾患、副反応の懸念など健康上の理由によりワクチン接種を受けられない方と12歳未満の子どもを対象に、ワクチンの証明書にかわる陰性証明を受けることができ、令和4年3月31日まで無料で利用できます。

さらに、12月28日からオミクロン株の感染の広がりを受け、感染拡大に不安を感じる無症状の方も無料検査を利用できることになりました。

この検査は、ワクチンの接種の有無にかかわらず利用でき、実施期間は令和4年1月31日までとされています(感染状況により変更の可能性あり)。浜北近辺で無料検査を受け

られる場所は処方箋を受け付けているウエルシア薬局(浜北店等12店舗)と杏林堂浜松医大調剤センターです。身分証明書(運転免許証、マイナンバーカード、健康保険証、学生証等)を持って店舗に行き、自分でPCR検査(唾液)または抗原定性検査(鼻腔ぬぐい)の検体を採取します。PCR検査は翌日以降、抗原定性検査はその場で(15分)結果が出ます。ただし、発熱等の症状のある方は医療機関(かかりつけ医、発熱等診療医療機関)を受診するようにしてください。

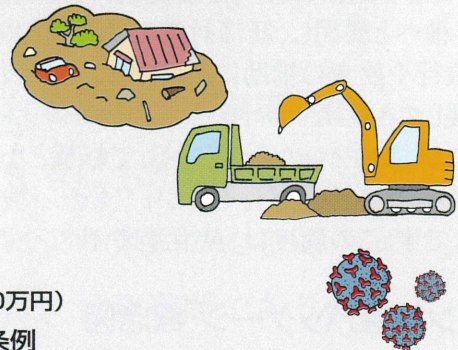
このように制度の充実が図られてきましたが、私たち一人一人の対策が重要であることは言うまでもありません。不便や寂しさを受忍することが求められますが、外出時のマスクの着用やうがい手洗いの励行、公共の場で混雑を避けるなど新しい生活様式の維持を今しばらくお願いいたします。

9月県議会 定例会

議会で可決された主な議案

- ◆令和3年度一般会計補正予算 214億2,700万円
— 令和3年度一般会計補正予算の概要 —
 - 7月1日から的大雨等被害への対応 <51億4,600万円>
 - ・公共土木施設等の災害復旧
 - ・生活支援・地域支え合いセンター（仮称）の設置
 - ・熱海市伊豆山地区の被災事業者の復旧支援 ほか
 - 新型コロナウイルス感染症対策 <180億4,500万円>
 - ・休業・時短要請に応じた飲食店・施設への協力金
 - ・第6波に備えた病床確保に伴う空床補償
 - ・外国人患者の受入体制の整備 ほか
 - “ふじのくに”づくりの新たなスタート <7,900万円>
 - ・BMX競技の普及・振興策の検討
 - ・歴史・文化資源を活用した観光地域づくり
 - ・ヤングケアラーの実態調査
 - ・新興感染症等の対策に向けた体制の検討 ほか
 - 見直し等による事業費の減額 <△17億円>
 - ・事業の中止・縮小・延期 ほか
 - その他 <△1億4,300万円>
 - （増額分）・福祉系高校の生徒に対する修学資金の貸付
 - ・若年がん患者に対する治療支援制度の拡充
 - （減額分）・焼津水産高校の施設整備計画の変更による減額 ほか

財源は、国庫支出金、地方交付税などを活用（予算累計額2兆8419億8100万円）



- ◆静岡県家畜共同育成場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
静岡県家畜共同育成場の利用料金の上限額及び利用料金の承認について、受益者負担の適正化を図るための条例の改正です。

意見書

- ◆意見書 ○盛土に関する規制強化を求める意見書
- 通学路の交通安全確保に関する意見書
- 出産育児一時金の増額を求める意見書



11月県議会 臨時会

決議

川勝平太知事に対する辞職勧告決議

※決議文は、市川秀之公式ホームページ内「県政報告vol.7」に掲載
このほかの意見書・決議は静岡県議会のホームページでご覧になれます

12月県議会 定例会

議会で可決された主な議案

- ◆令和3年度一般会計補正予算 555億2,600万円
新型コロナウイルス感染症「ワクチン・検査パッケージ」等に対応した検査体制の整備、防災・減災対策（道路や砂防等のインフラ整備）の前倒し等に必要経費の増額補正を行うものです。
- ◆静岡県港湾管理条例の一部を改正する条例
港湾区域内に設置する飲食店等に係る占用料の新設に伴う条例の改正です。

意見書

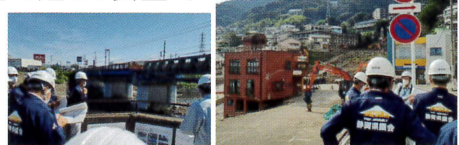
- ◆意見書 ○ヤングケアラーの支援に関する意見書
- 子宮頸がん対策に関する意見書
- 原油価格高騰に伴う経済的影響に関する意見書
- 新興感染症等の流行発生に備えた地域医療のレジリエンス強化に関する意見書
- 新型コロナウイルス感染症の後遺症対策に関する意見書



常任委員会 「建設委員会」

本年度建設委員会の副委員長として、7月に発生した梅雨前線に伴う大雨による災害被災地のうち、特に被害のひどかった「熱海市伊豆山地区の土石流災害現場」と「黄瀬川大橋の被災現場」を視察してま

いりました。これらの現場では、静岡県が国や関係市町と連携して、全力で復旧・復興に取り組んでおります。今後も防災・減災の観点から県土強靱化を進め、安全で安心して住めるまちづくりに取り組んでまいります。



Topics

地域の歴史を学ぶ 「遠州山辺の道の会」

私は昨年春から浜北地域の古い道筋をたどりながら歴史・文化・自然などをテーマに活動している「遠州山辺の道の会」に参加させていただいています。きっかけは会員の方から「永島の善光寺通りについて確認したい」との御連絡をいただいたことです。ここでいう善光寺通りは私の会社の北側の細い道路のことなのですが、お話しは大変興味深く、これを機に入会させていただきました（永島の善光寺のお話しは「遠州山辺の道の会」のホームページでも公開されています）。



現代はインターネットによる情報化社会となり、一律の情報が世界を飛び交っています。スマートホン1台でいつでもどこにいても世界中の情報を簡単に手に入れることができるとも便利な社会です。しかしながら、インターネットの情報は不特定者により既成の情報が編集されたものが多く、情報の背景や根拠も曖昧でオリジナルがよくわからないという問題があります。それではオリジナルの情報はどこにあるのでしょうか。

華僑ネットワークの研究で世界的に高名な濱下武志先生（静岡市出身、静岡県立大学特任教授、東京大学名誉教授）は、オリジナルで確かめることができる情報（学知）は、それぞれの地域の歴史と記憶の中に埋め込まれているといいます。このことを私は、地域の歴史と記憶からオリジナルの情報を取り出してそれらをつなぐことにより、現代に至る地域の本当の姿が見えてくると理解しました。

私が子供のころ、永島の実家では地類と呼ばれる十軒あまりの地縁者と年間を通して冠婚葬祭など様々な行事を共同で行っていました。秋葉信仰による「お日待ち」や庚申信仰の集会「庚申講」が持ち回りで行われていたことを記憶しています。勤務形態や生活様式の変化から維持が困難となったため現在は行われていませんが、その記憶は神仏に対する畏敬の念とともに鮮明に残っています。また、浜北区内の道路沿いに残る秋葉灯籠や祠、石仏等は、在りし日の人々の往来や信仰について様々な思いを呼び起こします。このほか、国鉄二俣線を走ったSLや浜北大橋が供用される以前の天竜川の渡船を実際に利用された方も多いと思います。現在、大型商業施設「プレ葉ウォーク」が立地する私の住む貴布祢地区の一角は、かつて日清紡の工場や社宅郡が立地し同社の多くの関係者が生活していましたが、これを知らない世代が増えてきました。目まぐるしく変化する現代社会では、私たちの先祖が数百年かけて作ってきた文化や風習そして産業や日々の営みも、ほんのわずかな時の合間に「昔のこと」としてどこかに忘れ去られていくような気がしてなりません。

父母や祖父母の代から伝え聞いた話などを含め、地域の歴史と記憶から浜北のオリジナル情報を取り出して記録にとどめ、未来につなぐ「遠州山辺の道の会」の活動に敬意を表するとともに、今後も歴史講座や勉強会に積極的に参加したいと思います。

静岡県議会議員

市川秀之

プロフィール

昭和41年11月20日生まれ
 家族構成：妻・2男1女
 趣味：ゴルフ・カメラ・文化芸術鑑賞
 静岡県立浜名高校 卒業
 日本大学経済学部 卒業
 市川産業（株）入社 現代表取締役
 学校法人北浜学園 北浜幼稚園 理事
 平成18年度（社）浜北青年会議所 理事長
 平成19年度 浜松市伎倍小学校 PTA会長
 平成21～24年度 浜松市PTA連絡協議会 副会長
 令和元年（2019年）～ 静岡県議会議員



おかげさまで、この県政報告「ひでゆき通信 INSIGHT～慧眼～」も vol.7 となりました。

バックナンバー（vol.1～vol.6）をご希望の方は 市川秀之事務所までご連絡いただければお届けします。

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

【市川秀之事務所】
 〒434-0013 静岡県浜松市浜北区永島577
 TEL053-443-8700 FAX053-443-8703

【静岡県議会 自民改革会議 控室】
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
 TEL054-221-2566 FAX054-221-3379

<http://www.ichi-hide.com/index.php>
 [E-mail] hide-ichikawa@mth.biglobe.ne.jp



川勝平太知事に対する辞職勧告決議

川勝知事は、かねてから不適切な発言を繰り返しており、そのたびに、本会議等において、不適切な発言は二度としないと県民や県議会に対して誓ってきた。

こうした中、去る10月23日には、またもやそれを裏切り、参議院議員静岡選挙区補欠選挙の応援演説で、県政の最高責任者にもかかわらず、本県の一部地域を差別し辱め、本県を分断する発言により県民の心を深く傷つけるとともに、県政の停滞と混乱を招いたことは、言語道断であり断じて容認できず、全くもって知事としての資質を欠いていることが明白となった。

更に、発言が報道されるようになってからの対応を通じて、知事の言行を諫めることが出来ない県庁組織の現状が明らかになったと言える。県庁内に忖度が蔓延り、知事にとって耳障りの悪い話は遠ざけられている。県庁組織の知事に対する無批判の追従による静岡県政の停滞は看過できない。

よって本県議会は、静岡県知事川勝平太君に対して、知事の職を辞するよう勧告する。

以上、決議する。

令和3年11月24日

静岡県議会